

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期川西町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

山形県東置賜郡川西町

3 地域再生計画の区域

山形県東置賜郡川西町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の総人口は、昭和30年（合併時）に30,294人をピークに減少傾向が続いており、昭和50年から昭和60年に一時停滞傾向の時期もあったものの、平成に入り再び減少傾向となっています。その減少幅は5年間で1,000人前後と減少のスピードは加速しており、令和2年の国勢調査結果では14,558人とまで減少しています。なお、住民基本台帳に基づけば、令和7年は13,016人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計（令和5年度時点）では、令和22年には、9,253人まで減少すると見込まれています。

自然動態については、平成7年以降、出生数が死亡数を上回ることはなく、その差は広がっています。ここ数年では、出生数が100人を切る状況が続いており、直近5年間の平均では約210人の自然減となっております（令和7年247人の自然減）。なお、合計特殊出生率は、全国平均を上回って推移していましたが、平成22年以降は全国と同水準で推移しており、令和5年で1.08となっています。

社会動態については、平成7年以降、転出者が転入者を上回る、いわゆる「転出超過」の状態が続いており、平成18年の238人をピークに、直近5年間の平均では約120人の転出超過となっています。（令和7年125人の社会減）。

年齢3区分別人口では、生産年齢人口比率及び年少人口比率が減少傾向にあるのに対し、老年人口比率は増え続けています。平成7年には、老年人口が年少人口を上回り、以降差は広がり続け、令和7年においては、年少人口1,166人、生

産年齢人口 6,462 人、老年人口 5,388 人となっています。なお、令和 7 年の高齢化率は 41%を超える状況となっており、少子高齢化が加速度的に進行しています。

人口減少及び少子高齢化に伴う年齢 3 区分別人口の不均衡状態や生産年齢人口の減少は、労働力不足とそれに伴う生産活動の低下をもたらし、町内の消費支出全体を減少させ、地域産業の減退や地域コミュニティ機能の低下を招く恐れがあります。また、社会保障費の増加や税収の減少等による財政の硬直化が進行し、行政サービスの低下に繋がることも懸念されます。

上記の課題に対応するため、定住人口の減少抑制とバランスの取れた人口構造基盤の維持を図るべく「社会減」への対策と対応に重点を置き、特に社会減の大きな要因となっている若年層等の転出抑制に向け、若者や女性が活躍するまちづくりに取り組みます。また、若年層のみならず町民全てが住み続けられるまちづくりを目指し、産業の振興や雇用の確保、住環境の整備や安心して子育てができる環境整備を図ります。

これらの取り組みを進めるにあたり、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げます。

- ・基本目標 1 若者や女性、多様な人々が活躍するまちづくり
- ・基本目標 2 安心して快適に住み続けられるまちづくり
- ・基本目標 3 挑戦を支え、産業が発展し、稼げるまちづくり
- ・基本目標 4 共に支えあい、健康に暮らせるまちづくり
- ・基本目標 5 夢を育み、心豊かに学べるまちづくり
- ・基本目標 6 人を育て、未来につなげるまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	地域づくりへの主体性や 起業家精神を育む講座、 ワークショップ等の開催	13回 214人	14回 280人	基本目標 1

	と参加人数（町主催）			
ア	町公式SNSの若者の登録者（フォロワー）数	1,028人（令和7年9月時点）	1,700人	基本目標 1
ア	若者を対象とした対話、交流の実施回数と参加人数（町主催、共催）	0回 0人	3回 60人	基本目標 1
ア	若者が集まれる場所の数（公の施設を除く）	0箇所	2箇所	基本目標 1
ア	町内で開催された若者主導のイベント数（町報、町SNS掲載）	4回	12回	基本目標 1
ア	若者の起業数、新規の認定農業者、認定新規就農者数、認定女性農業者数（令和2年度からの期間累計）	31件	80件	基本目標 1
ア	こどもに向けた情報発信の回数（行政発信）	8件	12件	基本目標 1
ア	こどもが参加できる地域活動の数、参加人数（町主催、各地区センター主催）	データ無し	14件 280人	基本目標 1
ア	こどもの意見を聴く機会の開催数、参加者数（町主催）	1回 約150人	3回 250人	基本目標 1
ア	若者に関するアンコンシヤス・バイアスをなくすためのセミナー等の回数、参加者数（町主催、共催）	0回 0人	2回 40人	基本目標 1

)			
ア	ユースエール認定町内事業所件数（累計）	0件	2件	基本目標 1
ア	アンコンシャス・バイアス解消やジェンダー平等、意識醸成に向けたセミナー等の回数、参加者数（町主催、共催）	2回 60人	2回 60人	基本目標 1
ア	上記セミナー等の内容を理解したと答えた方の割合（セミナー等のアンケートで把握）	-	90%	基本目標 1
ア	女性同士の対話、交流するワークショップ等の回数、参加者数（町主催、共催）	4回 57人	4回 80人	基本目標 1
ア	女性の起業数、新規の認定農業者、認定新規就農者及び認定女性農業者数（期間累計）	16件	40件	基本目標 1
ア	町内にある企業や事業所のえるぼし、くるみん、やまがたスマイル企業、やまがたイクボス同盟認定事業者件数（累計）	26件	40件	基本目標 1
ア	子の父母（パートナー含む）が協力しあって家事・育児をしていると回答した割合	92.2%	95.0%	基本目標 1

ア	町の委員会等の女性委員比率(町の審議会、委員会、地域づくり組織の女性委員比率)	25.3%	40.0%	基本目標1
イ	温室効果ガス排出量	2,523.6t-co ₂	1,759.0t-co ₂	基本目標2
イ	再生可能エネルギー導入量(累計)	71,666KW	130,000KW	基本目標2
イ	1人1日あたりの生活系ごみ排出量(り災除く)	465g	332g	基本目標2
イ	資源化率(り災除く)	10.9%	20.0%	基本目標2
イ	新築住宅、中古住宅の取得支援事業による移住・定住者数(期間累計)	235人	512人	基本目標2
イ	住宅リフォーム支援事業活用件数(期間累計)	527件	823件	基本目標2
イ	メディカルタウンでの新築住宅軒数(累計)	16件	60件	基本目標2
イ	空き家バンク成約件数(累計)	89件	140件	基本目標2
イ	空き家の除却支援件数(累計)	4件	10件	基本目標2
イ	除雪オペレーターの充足率	100%	100%	基本目標2
イ	除雪アダプト取組延長	4,760.5m	5,000.0m	基本目標2
イ	ボランティア除雪支援事業の参加者数	157人	210人	基本目標2
イ	計画路線の整備率	24.90%	54.30%	基本目標2
イ	修繕が必要な橋梁数(危)	14橋	5橋	基本目標2

	険度判定Ⅲ以上)			
イ	耐震適合性がある水道管の割合（基幹管路）	25.6%	30.6%	基本目標2
イ	デマンド型乗合交通利用者満足度	86.60%	88.0%	基本目標2
イ	免許返納した高齢者のみ世帯でデマンド型乗合光交通を使用している割合	57.1%	80.0%	基本目標2
イ	J R 米坂線及びフラワー長井線の運行本数	JR米坂線21本 フラワー長井線16本 (令和7年度数値)	JR米坂線21本 フラワー長井線16本	基本目標2
イ	災害情報発信サービスに係るLINE登録者数	3,690人	4,550人	基本目標2
イ	町養成防災士数（期間累計）	34人	64人	基本目標2
イ	河川の整備率（準用河川の治水対策計画区間）	29.50%	100%	基本目標2
イ	人口1万人当たり町内交通事故件数（暦年）	31.9件	22.3件	基本目標2
イ	人口1万人当たり町内刑法犯の認知件数（暦年）	39.3件	30件	基本目標2
ウ	農業産出額	69.2億円	90億円	基本目標3
ウ	認定新規就農者数（期間累計）	9人（令和3年度～令和6年度）	10人（令和7年度～令和12年度）	基本目標3
ウ	認定農業者及び地域計画	74.60%	80.00%	基本目標3

	における経営体への集積率			
ウ	多面的機能支払交付金の交付対象活動組織数	19団体	19団体	基本目標 3
ウ	中山間直接支払交付金の交付対象活動組織数	3団体	3団体	基本目標 3
ウ	繁殖牛（成牛）飼養頭数	727頭	700頭	基本目標 3
ウ	市町村内総生産（第二次産業）	13,552百万円（令和4年度）	13,630百万円（令和9年度）	基本目標 3
ウ	市町村内総生産（第三次産業）	23,827百万円（令和4年度）	23,965百万円（令和9年度）	基本目標 3
ウ	企業支援関連事業による支援件数	10件	13件	基本目標 3
ウ	起業数	3件	4件	基本目標 3
ウ	企業誘致件数（期間累計）	6件	9件	基本目標 3
ウ	マルチワーク派遣労働者雇用人数	—	5人	基本目標 3
ウ	観光客数	490,093人	615,000人	基本目標 3
ウ	ダリヤ園入園者数	38,311人	50,000人	基本目標 3
ウ	浴浴センターまどか利用者数	110,782人	124,000人	基本目標 3
ウ	ふるさと納税寄付件数	15,628件	48,000人	基本目標 3
ウ	かわにしファン倶楽部会員数	450人	800人	基本目標 3
エ	平均自立期間	男性80.7歳 女性83.2歳	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	基本目標 4

エ	特定健康診査受診率	55.30%	60.00%	基本目標 4
エ	健康ポイント参加者数	—	1,000人	基本目標 4
エ	小学生の肥満の割合	男子14.0% 女子17.9%	山形県平均以 下	基本目標 4
エ	睡眠で休養が十分とれて いる者の割合	76.60%	95.0%	基本目標 4
エ	医療機関数	22施設	22施設	基本目標 4
エ	川西診療所における訪問 診療数（オンライン診療 含む）	134件	160件	基本目標 4
エ	川西診療所への患者逆紹 介数	180件	200件	基本目標 4
エ	民生委員・児童委員の定 数充足割合	100%	100%	基本目標 4
エ	発達に関する療育や訓練 が必要な児童生徒が支援 を受けている割合	100%	100%	基本目標 4
エ	障害者支援施設からの年 間地域生活移行者数	1人	1人	基本目標 4
エ	障害者就労支援事業所か らの年間一般就労移行者 数	1人	5人	基本目標 4
エ	要介護認定を受けていな い高齢者の割合	82.0%	82.2%	基本目標 4
エ	住民主体の通いの場の箇 所数	44箇所	48箇所	基本目標 4
エ	認知症サポーター数（累 計）	3,959人	4,400人	基本目標 4
オ	年間出生数	37人	65人	基本目標 5

オ	小学校入学時の定着率	103.2%	110.0%	基本目標 5
オ	子育て支援センター利用者数	1,786人	2,000人	基本目標 5
オ	病児保育の事業者数	1事業所	1事業所	基本目標 5
オ	小学校数	5校	1校または2校 (令和17年度 まで)	基本目標 5
オ	英検3級に合格した中学3年生の割合	18.6%	60.0%	基本目標 5
オ	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う小学生、中学生の割合	小学生91.1% 中学生83.5%	小学生95.0% 中学生95.0%	基本目標 5
オ	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む小学生、中学生の割合	小学生86.1% 中学生81.3%	小学生95.0% 中学生95.0%	基本目標 5
オ	ICT機器を活用して自分の考えや意見を発表できる小学生、中学生の割合	小学生82.2% 中学生82.4%	小学生95.0% 中学生95.0%	基本目標 5
オ	町立図書館の町民への図書貸出冊数	20,873冊	24,000冊	基本目標 5
オ	出前講座受講者数	753人	850人	基本目標 5
オ	社会教育団体の数	80団体	75団体	基本目標 5
オ	子連れ参加可能な講座数	4件	8件	基本目標 5
オ	スポーツ施設の利用者数	43,947人	38,000人	基本目標 5
オ	総合型地域スポーツクラブの利用者数	204人	200人	基本目標 5
オ	学習・体験プログラムの参加者数(町主催、共催)	285人	350人	基本目標 5

オ	フレンドリープラザ利用者数	20,071人	26,000人	基本目標 5
カ	町の課題に関する住民ワークショップ等の開催数	8回	14回	基本目標 6
カ	若者の転出超過率（18歳～39歳）	男性3.86% 女性2.45%	男性1.93% 女性1.23%	基本目標 6
カ	10代後半の若者の流出率（15歳～19歳）	男性27.1% 女性29.4% (令和1年～6年)	男性13.5% 女性14.7% (令和7年～12年)	基本目標 6
カ	置賜農業高等学校への入学者数	59人	80人	基本目標 6
カ	移住定住制度や仕組みを介した町外からの移住者数（期間累計）	28人（令和2年度～6年度）	35人（令和7年度～12年度）	基本目標 6
カ	相談窓口やイベントにおける移住相談件数（期間累計）	887件（令和2年度～6年度）	1,000件（令和7年度～12年度）	基本目標 6
カ	メディカルタウンへの定住者数（うち39歳以下）（累計）	50人 (42人)	185人 (155人)	基本目標 6
カ	財政力指数	0.26%	0.26%	基本目標 6
カ	公共施設の延べ床面積	83,448㎡	82,223.56㎡	基本目標 6
カ	第6次総合計画前期基本計画における数値目標達成率	—	100%	基本目標 6
カ	職員提案制度による業務改善実施件数	2件	10件 (令和8年度～12年度)	基本目標 6

カ	置賜定住自立圏での広域 連携取組数	39件	39件	基本目標 6
カ	置賜定住自立圏以外の広 域連携取組数	0件	5件 (令和8年度 ～12年度)	基本目標 6

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期川西町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

- ア 若者や女性、多様な人々が活躍するまちづくり事業
- イ 安心して快適に住み続けられるまちづくり事業
- ウ 挑戦を支え、産業が発展し、稼げるまちづくり事業
- エ 共に支えあい、健康に暮らせるまちづくり事業
- オ 夢を育み、心豊かに学べるまちづくり事業
- カ 人を育て、未来につなげるまちづくり事業

② 事業の内容

- ア 若者や女性、多様な人々が活躍するまちづくり事業

若者や女性が地域活動に積極的に参画できる環境づくりを推進するとともに、町民一人ひとりが自分の思いを実現できる取組を応援することにより、誰もが活躍し、楽しく、生き生きと暮らせまちづくりを推進します。併せて、みんなが多様性を尊重し合い自己実現できる地域社会に向けて、世代や立場を超えた交流や活動を通じて人と人のつながりを作り深めていくことで寛容性を育むまちづくりを推進します。

【具体的な事業】

- ・ 若者が地域について興味を持ち、知識を深めるための事業
- ・ 若者が地域活動に積極的に参加し、つながりを深めるための事業
- ・ 若者自らが行動し、地域の未来をつくるための挑戦を後押しする事業
- ・ 未来を担うこどもが地域において主役になれる事業
- ・ 若者の挑戦や多様な意見を受け入れるため、アンコンシャス・バイアスを解消し、地域の寛容性を高める事業
- ・ 無意識の偏見を取り除き、互いの多様性を尊重し合える風土を育む事業
- ・ 制度や慣習に根付いた役割偏重を見直し、柔軟で多様な参画を推進する事業 等

イ 安心して快適に住み続けられるまちづくり事業

人口減少社会、超高齢社会においても、地域公共交通やインフラを適切に整備し、都市機能の維持や持続的な生活サービスの提供を図りながら、高齢者やこどもを含むすべての町民が快適に暮らせるまちづくりと町民一人ひとりの生命や財産が災害や犯罪から守られるよう、自助、共助、公助により地域防災力、防犯力を高め、誰もが安心して生活できるまちづくりを推進します。併せて、恵まれた自然環境を次世代へ継承していくため、再生可能エネルギー導入やリサイクル活動の推進等により環境に配慮した取組を進め、町民と共に環境への負荷を減らし、資源を大切に活用する循環型の社会づくりを推進します。

【具体的な事業】

- ・ 地球温暖化対策の推進に関する事業
- ・ 安心して暮らせる住環境の整備に関する事業
- ・ 総合的な雪対策の充実に関する事業
- ・ 持続可能なインフラ整備に関する事業
- ・ 地域公共交通の充実に関する事業
- ・ 防災減災対策の充実に関する事業
- ・ 交通安全・防犯体制の充実に関する事業 等

ウ 挑戦を支え、産業が発展し、稼げるまちづくり事業

既存産業の安定的な基盤づくりや新たな可能性を引き出す取組を進め、地域の産業が持続的に発展し、安心して働き、暮らし続けられるまちづくりを推進します。そして、町内における起業等の新たな挑戦に対して、必要な支援を行い、地域の財産や最新の技術を活用した新たな価値を創造する産業づくりを進めます。

これにより、既存の産業と新しい産業がともに発展し、町民一人ひとりが主体的に関わりながら、地域に根差した「しごと・産業」を共に築き上げ、さらに「稼げるまち」を目指します。

さらに、川西町の人、歴史、文化、地域性を活かし、観光や交流を通じて町外から訪れる人々とのつながりを増やします。あわせて、町外の人々が町民と共に働きたいと思う環境づくり、ふるさと納税や二拠点居住を積極的に促進しながら、川西町に関わる人の輪が広がっていくまちを目指します。

【具体的な事業】

- ・ 農林業の振興に関する事業
- ・ 商工業の振興に関する事業
- ・ 起業・誘致・連携による地域活性化に関する事業
- ・ 観光の振興に関する事業 等

エ 共に支えあい、健康に暮らせるまちづくり事業

自身の健康に関心を持ち、生涯にわたって心身の健康を保つため、地域医療や健康づくりの取組を充実させ、健康寿命の延伸を目指します。

また、バリアフリーな環境づくりや多様なニーズに対応した支援体制の強化を推進し、障がいや年齢、性別等に関わらず、誰もが住み慣れた地域で自分らしく生き生きと暮らせる社会を目指します。

さらに、世代間を超えて支えあい、協力し合える仕組みづくりを推進し、特に社会的孤立や不安を抱える人々を温かく受け入れる取組を町民と共に進めます。これにより、すべての人が安心して暮らせる地域共生社会を目指します。

【具体的な事業】

- ・ 健康づくりの推進に関する事業
- ・ 医療体制の充実に関する事業
- ・ きめ細やかな福祉の推進に関する事業
- ・ 介護の充実に関する事業 等

オ 夢を育み、心豊かに学べるまちづくり事業

子を授かり産み育てていく過程において必要となる切れ目のない支援や環境づくりにより、安心して子育てができるまちを目指します。

また、こどもたちが、川西町への郷土愛を持ち、生きる力としなやかな心を育みながら、一人ひとりの夢の実現に向けた力を身に付けられる教育環境づくりを目指します。

さらに、文化芸術やスポーツに親しみ、楽しめるような仕組みづくりを推進しながら、こどもから大人、高齢者に至るまで、あらゆる世代が自主的に学び続け、心豊かに生活を送れるまちを目指します。そして、歴史や伝統文化の継承に取り組むとともに、それらを活かした新たな学びや活動の機会を広げます。

【具体的な事業】

- ・ 子育て環境の充実に関する事業
- ・ 学校教育の充実に関する事業
- ・ 社会教育、生涯スポーツの充実に関する事業
- ・ 文化振興と地域資源の活用に関する事業 等

カ 人を育て、未来につなげるまちづくり事業

多様な背景を持つすべての町民が共に生き、誰もが平等に社会参画できる取組を推進するとともに、共創によるまちづくりを進め、町民同士が支え合う温かいコミュニティの構築を目指します。

そして、人口減少・少子高齢社会における地域課題を解決するため、移住定住を積極的に推進するとともに、あらゆる分野でDXを推進し、人材を育成しながら、持続可能な地域づくりを進めます。

また、限りある資源を活用して行政サービスを持続的に提供するため、行政職員の人材育成に力を入れるとともに、デジタル技術や民間活力の活用、近隣市町との連携等による事業の省力化を進めます。

さらに、安定した財源の確保、効率的な資源分配を実現し、無駄のない健全で安定した行財政運営を行いながら、未来につなげるまちを目指します。

【具体的な事業】

- ・ 地域を支える「ひと」と「つながり」の創出に関する事業
- ・ 移住定住の促進に関する事業
- ・ 経営基盤の強化に関する事業
- ・ 行政運営の最適化に関する事業
- ・ 広域連携の推進に関する事業 等

※なお、詳細は第6次川西町総合計画のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

800,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度、庁内における内部評価を実施後、外部有識者により構成される団体において評価検証を行い、検証後速やかに川西町公式WEBサイト上で公表します。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで